

外国人留学生のための日本の伝統文化体験研修(有田・唐津)の実施報告



11月15日(土)に当財団主催の有田の伝統工芸焼き物づくり体験と唐津の宝当神社・曳山展示場見学会を実施しました。今回は九州大学、西南学院大学、福岡大学、九州工業大学等の留学生約25名と当財団スタッフも参加して、朝9時に博多駅をバスで出発、まずは佐賀県の有田ポーセリンパークに向かいました。ポーセリンパークでは、有田焼工房に入って全員手びねり

による陶芸の体験研修を行いました。留学生達は、数名の指導員のもとで各人に材料が手渡され、自分の好きな形の茶碗やグラスを作り、お互いに作品の出来栄を比べたりしながら焼き物づくりに没頭していました。完成した作品は窯で焼いた後に2ヵ月ほどして財団に送られてきたので全員に手渡しました。焼き物体験の後は宗政酒造「有田蔵」やパーク内を見学することができました。

ポーセリンパークの見学の後は九州の小京都とも呼ばれる唐津に移動、船で高島に渡り宝くじが当たることで有名になった宝当神社を参拝、その後唐津くんちの曳山展示場を見学しました。宝当神社は唐津湾の近くにある高島まで渡船で行く必要があるため、船で渡った後神社を参拝、留学生達には宝くじは無縁のようでしたが日本の神様の面白い一面を知って興味深く境内の中を見入っていました。また、曳山展示場に展示されている唐津くんちの御神輿を見て留学生達はあちこちで歓声を挙げたりカメラのシャッターを切っていました。

以下の写真はその体験研修の様子です。



有田ポーセリンパークの有田焼工房内



有田焼工房前での集合写真



パーク内のツヴィンガー宮殿前にて



唐津の宝当神社での集合写真